

令和 5(2023)年 1 月 27 日

## 新規会員増員における女性会員(シルボンヌ)獲得に向けた取り組みの経緯等

公益社団法人 東山梨地区広域シルバー人材センター

※シルボンヌ (Silbonne) とは、「シルバー (Silver)」と「女性のお手伝い・親切 (フランス語の bonne)」の意味を合わせた造語です。

### ・平成 26(2014)年 9 月 25 日 全国シルバー人材センター事業協会(以下「全シ協」)

シルバー人材センター会員を全国で現在約 70 万人の会員数から、100 万人へとする「100 万人達成計画の推進について」を発出

令和 4(2022)年度に取り組む、第 2 次 100 万人計画についてはコロナ禍の影響により、会員数が下げ止まらない状況にあることから、当面、コロナ前の水準 (令和元年度数値) の会員数に回復させることを目標として取り組む。まず「会員の拡大」が最重要課題である。コロナ禍という想定外の事態により 19 年ぶりに 70 万人を下回ってしまった会員数を、一日も早くコロナ前の水準 (令和元年度数値) まで回復させた上で事業を成長軌道に乗せなければならない。(全シ協方針)

現在この方針に基づき東山梨地区広域シルバー人材センターでは当初コロナ前の会員目標数 585 人で

あったものを令和元年度の会員数の452人に修正し、会員獲得に向けて取り組んでいる。

令和5(2023)年1月26日現在の会員数は431人であり目標達成率は95%。目標達成まで21人となっている。なお、東山梨地区広域シルバー人材センターの会員数のピークは平成14(2002)年度末の560人である。

・平成30(2018)年度 全シ協

「女性会員がふえると会員全体も増加」する傾向にあることが判明

・平成30(2018)年度 公益社団法人いきいき埼玉(埼玉県シルバー人材センター連合会)

シルバー人材センターのイメージアップと女性会員の入会促進に向けて、女性会員の愛称「シルボンヌ」を定める。

**「シルボンヌ (Silbonne)」は「シルバー (Silver)」と「女性のお手伝い・親切 (フランス語の bonne)」を合わせた造語。**

・令和元(2019)年度 全シ協

入会促進ターゲットを女性に絞り、女性にあった事業の増加を目指す方針

・令和2(2020)年5月1日 全シ協

シルボンヌ全国大会 IN TOKYO 実行委員会設置

埼玉県シルバー人材センター連合会は「シルボンヌ」を埼玉県内だけではなく、全国の会員に普及・浸透させて、シルバー人材センターのイメージ変革につなげたいとの思いで、全シ協主催の令和2(2020)年の全国大会への「シルボンヌ」使用を承諾。(月刊シルバー人材センター令和3(2021)年2月号から)

・令和2(2020)年度上半期 全シ協

- ・シルボンヌ全国大会 IN TOKYO 実行委員会開催
- ・女性活躍促進に向けたシンボルマーク等の作成
- ・女性活躍促進に向けた「シンボルマーク」決定



にと元  
気に活

躍している。会員でない方も、会員になって、自分色の花を咲かせていただきたいという思いを込めて、女性と花が同化したシンボルマークを作成した。全国のシルバー人材センターでは、このシンボルマークを掲げ、女性が生涯活躍できる社会を目指す。

・全国のシルバー人材センターの女性会員は、仕事にボランティアやサークル活動

上を向いてあるこう



私たちは女性の活躍を応援します



ありがとうは魔法の言葉

シルバー人材センター  
全国シルバー人材センター連合会  
全国シルバー人材センター事務局

あなたも輝いてみませんか

あなたのまちのシルバー人材センター



- ・女性活躍促進に向けたキャッチフレーズ、「ありがとうは魔法の言葉」決定。
- ・全国のシルバー人材センターでは、女性活躍促進に向けたキャッチフレーズとして「ありがとうは魔法の言葉」を掲げて、会員、利用者をはじめ、すべての皆さんから「ありがとう」と言っていただけるシルバー人材センターを目指す。(月刊シルバー人材センター令和3(2021)年2月号から)

・**令和2(2020)年10月16日 中日新聞夕刊**

埼玉県ではシルバー世代で活躍する女性を「シルボンヌ」と呼称。女性会員の入会を促進している。

・**令和2(2020)年11月25日 全シ協 シルボンヌ全国大会 IN TOKYO 2020**

シルバー人材センターの会員100万人達成計画の実現に向けて、女性会員を拡大するため、より多くの皆さんに女性会員の活動を知っていただくことを目的に初めて開催した。

・**令和4(2022)年1月19日 全シ協 シルボンヌ全国大会 IN TOKYO 2021**

シルバー人材センターの女性会員の活動を多くの皆様にご覧いただき、女性会員の拡大と更なる活躍

に活かしていくことを目的として開催し、昨年度に続き 2 回目となる。

・ **令和 4(2022)年 12 月 22 日 全シ協 シルボン又全国大会 2022 in 愛知**

シルバー人材センターの女性会員の活動を多くの皆様に知っていただき、女性会員の拡大と更なる活躍に活かしていくことを目的とした開催し、昨年度に続き 3 回目となる。

・ **令和 5(2023)年 1 月 19 日 全シ協**

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が女性会員の拡大と更なる活躍に活かしていくことを目的として、令和 2(2020)年から始まったシルボン又全国大会が令和 4(2022)年 12 月 22 日に 2022in 愛知として開催されました。

大会にあわせて作成された「輝き続けるシルボン又たち」女性活躍事例集において、全国の 26 都府県からの女性活躍事例が掲載されています。

・ **令和 5(2023)年 1 月 26 日 東山梨地区広域シルバー人材センター**

シルボンヌ全国大会 2022in 愛知では、大会に合わせて作成された「輝き続けるシルボンヌたち」女性活躍事例集で、全国のシルバー人材センター1,339 団体の総会員約 69 万人からピックアップされた 26 名の中に、山梨県シルバー人材センター連合会傘下の東山梨地区広域シルバー人材センター、風間節子会員が事例紹介されています。

この事例集は後日、全シ協から一定部数送付される予定であり、大会の様子も全シ協ホームページで視聴する準備が進められているとのことです。

本センターでは、今後の女性会員の拡大に向けて活用していけたらと考えています。